

当委員会が考える好循環モデルの構築による事業目的の達成について

① 地域の魅力とは

当委員会が考える地域の魅力とは、地域に存在するモノやコトだけではなく、そのモノやコトを強く愛する人の感情が合わさったものです。

② 地域の魅力に共感してもらうために必要なこと

当委員会が考える地域の魅力に共感してもらうために必要なことは、地域のモノやコトを強く深く愛する、我々自身の偏愛です。偏愛にはそれを愛するに至るストーリーや感情が溢れており、そのストーリーや感情が人々の共感を呼び起こすと考えています。

③ 本事業の大前提

本事業の大前提として、地域の隠れた資源を発掘するということは、当委員会メンバーそれぞれが持つ偏愛を発掘し、その偏愛こそが地域の魅力と捉えています。発信する当委員会メンバー自身にその偏愛がなければ共感を得ることができないとの考えからです。本事業の商品の選定においても、委員会内に偏愛のあるものから選定をしています。

選定されたイチジクにも委員会内で2つの偏愛を発掘しました。

1. 県外出身者で新潟に移住して13年の中で、新潟に来てよかったと一番思うことは、新潟のイチジクの衝撃的な美味しさを味わえたこと。
2. 親が趣味で始めたイチジク栽培に本腰を入れ、その美味しさに確信を持ち事業拡大に奮闘する農家。

④ 本事業の好循環モデルの構築に必要な要素

当委員会が考える好循環モデルとは、

1. 経済的に利益を生む
2. 環境負荷を起こさない
3. 続ければ続けるほど新潟の魅力が伝わる

の3つの要素を同時に達成するモデルです。

⑤ 当委員会が提案する好循環モデルの具体

当委員会が提案する好循環モデルの具体案は、偏愛に溢れた新潟の食材とバイオマスプラスチックを活用したキッチンカー・屋台、となります。

本案は前項の要素を以下の通り満たすものと考えます。

1. 経済的に利益を生む

イベントでの販売モデルの為、事業収益を確保することができるので、利益を生むことが可能です。また、偏愛に溢れた食材を扱っているため、現場での販売力を高く事業活動することができます。

2. 環境負荷を起こさない

バイオマスプラスチックの活用により、環境負荷の少ない事業活動が可能です。

3. 続ければ続けるほど新潟の魅力が伝わる

背景に記載した地域内外から人が集まるイベントにおいて、新潟の食材を扱う店が非常に少ないことがあり、本案のキッチンカー・屋台が増えれば増えるほどイベントに訪れた人が新潟の魅力に触れる機会を増やすことができます。また、偏愛に溢れた食材を扱っているため、食べた人の共感を得る確率が高くなります。

⑥ 事業目的の達成と運動で目指す理想の未来の実現について

本案は地域が違えばそこにいる人々の偏愛も異なってくるため、地域によって違った食材を扱うことができる拡張性を持ったモデルと考えています。ブロック協議会での事業で委員会内の偏愛を掘り起こし、それを活用してキッチンカー・屋台を開発するという手法を確立し、各 LOM でもそれぞれの偏愛を掘り起こして応用する枠組みを提案することが事業目的を達成し、運動で目指す理想の未来に近付くと考えています。